



# 40年目の栄光工業

100年続く夢のある企業へ



# 心に響いた仕事の言葉

誰かがふと掛けてくれた一言、  
たまたま手に取った本の一節、  
そうした言葉との出会いが大きな力に。  
あなたの大切な言葉は何ですか？

自分をいらない人間と思うな。

いらない人間なんていない。

岡林 好倫 (組立事業部)

社会人1年目で失敗続きで落ち込んでいた時に先輩から言われ、前向きに考えられるようになり、役に立てるようになっていった。



やってみせ、言って聞かせて、

させてみせ、ほめてやらねば、

人は動かじ。

山本 陽平  
(カット・プレス事業部)

海軍軍人 山本五十六の名言集より。人を動かしていくということにおいて全くその通りだなと実感した。



あなたに異動されては困る。

森尾 孝光 (品質保証部)

品質保証部から他部署へ異動になる旨を取引先様にお話しした際、先方から言われた言葉。  
どうしても引き続き担当してほしいと言って下さっていることを社長に伝えたところ、異動しないこととなった。  
自分のやってきた仕事が、先方に信頼されていたことが実感でき、苦しい時も乗り越えてきたことが報われたような気がした。これからは信頼を積み重ねていけるよう努力しようと思った。



努力は人を成長させ、

今後の人生も成長させる。

岡田 亜沙美 (管理部)

学生時代、吹奏楽部の四国大会を控え、夏休みも毎日練習をしていた時に先生が掛けてくれた言葉。この言葉を信じ、猛練習を乗り越えた結果、大会では優勝を飾ることができた。



大丈夫、大丈夫。

寺村 泰昌 (ステンレス事業部)

入社したてで派手にミスをした時、先輩がそう言いながら手早く修正作業をしてくれた。すごくカッコよかった。後輩ができたなら自分もカッコよく助けたいと思った。



お前が高知県1番の

バッティング・ピッチャーや。

西岡 稔記 (塗装事業部)

高校野球部の監督が、最後の大会のミーティング後に言ってくれた言葉。  
素直にとってもうれしかった。

今の自分があるのは、この時の頑張りがあったからだと思う。



行ってこい。



鈴木 弘仁 (生産管理部)

中途入社して間もない頃、海外勤務経験もなかったが、海外進出調査の大プロジェクトを、社長の「行ってこい」の一言で任された。社長の懐の広さに感銘を受け、計3回、のべ8ヶ国の視察を完遂した。今後も会社の期待に応えていきたい。

## 工場や設備の増設・従業員数の増加とともに 社内外のつながりを大切につくる

## 向かうべき方向性を定める創業期



2018年7月 第300回  
フレンドシップ会 記念大会



このデザインの法被は  
今でも健在



ウェブサイトや  
看板、ポスターなどに  
様々なポーズで登場



エミー初号



平成元年頃 南国市の本社工場



創業当時 高知市大津の工場

南国市、国分川の南側  
この地で生き残るには  
輸送コストが大きく、価  
格競争に巻き込まれやす  
い**量産ものは手掛けない**  
と決める。また取引先の  
業種は重複させず様々な  
**10業種の仕事を手掛ける**  
ことを決める。

**人脈を育むゴルフコンペ**  
毎月欠かさず主催し、アモーレ会  
は29年目350回、フレンドシッ  
プ会は25年目312回を迎える。  
朝の受付は社長自ら行い、参加者  
との新鮮な情報交換を継続するこ  
とで人脈を育んでいる。

**よさこい祭に参加**  
1998年、日吉神社夏祭りにて  
よさこいチーム発足。**社員や家族、  
地域との繋がりを大切に、**様々な  
行事を企画。

**ゼン太君、えい子ちゃん誕生**  
10周年に会社のマスコットが誕生。  
昔、国分川にいたとされる幻のし  
**ばてんがモチーフ。**現在の名前は、  
光太君と栄子ちゃん。

**月刊社内報エミーを発刊**  
1989年に初号を発刊し、現在  
では366号を超える。取引先様  
や行政、学校などへも配布し、当  
社の進化の様子をお知らせ。発刊  
当初から**3分で読めるスピードス  
タイトル**を貫く。

**3年目、倒産の危機**  
県内の得意先からの仕事が激減し  
20名の社員に給与が払えないほど  
に。そこで、**県外から仕事を取る**  
ことを決意。さらに、倒産が少な  
く、確実に成長が見込め、当社を  
厳しく指導してくれる**上場企業と  
の取引**を目標にする。潰れかけの  
当社と最初に取引してくれたのが  
三浦工業様であった。

**必ず、金属総合加工企業になる**  
もう一つの見込み、**設計かものづく  
り**のどちらから始めるか。家業で  
はなく、**多くの人に働く場を提供  
し、多くの人とともに幸せを勝ち取  
る**企業にしたいと考え、会社の規  
模拡大が見込めるものづくりから  
スタート。部品加工にとどまらず  
完成品までできる金属総合加工企  
業になることを目標に掲げる。

**だれもやらないなら  
うちがやればいい**  
板金加工が機械加工が、事業内容  
を選択する時、機械加工は県内に  
多くある一方、広い工場が必要で、  
製品が大きく輸送コストもかさむ  
板金加工は少なかったことから、  
だれもやらないならうちがやれば  
いいと考え、板金加工を選択。

## ← 10周年 1990

## ← 創業 1980

### 歴史のキーパーソン



山本 悟司/1998年入社 ゴルフ  
コンペ20周年の第240回より幹事  
補佐として支える。現在は管理部  
で新卒採用やエミーの発行を主導。

### 人脈づくりのきっかけ

FP委員会後の懇親会で、社長にうっかりゴルフに興味があると言ってしまった。その3日後、社長室に呼ばれると、そこにはゴルフバッグとクラブ一式が。「これを全部あげるからゴルフをやってみい。ゴルフをやめるときは返せ。」と言われ、返すくらいなら続けてやる!と思いい今に至ります。おかげで貴重な人脈が広がりました。

昔は今と違って残業づくしの時代。でも、**年齢に関わらず  
やったらやった分だけ評価され、昇給・昇格がある成果主義の  
社風**は今と同じ。皆、がむしゃらでした。いうなれば  
「健全なブラック」でしたね(笑) そんな栄光工業で、  
気づけば社歴20年、ゴルフ歴9年を超えました。

### 歴史のキーパーソン



娘・息子・妻との旅行先にて

### 社長が忘れられない家族の言葉

創業3年目、倒産の危機で、担保にしていた家売らないといけなほど追い込まれ、家族会議を開いた時のこと。中学生の娘から**「お父さんはいろんな人とお酒を飲んだり、  
ゴルフをしたりするき、遠い所にもお友達がいるんじゃない?  
遠い所から仕事を取ってきたらどう?」**と言われました。この言葉に、私は県外進出の決心をしたのです。

さらに数年後、長い不況の中、明日取引先からの入金がなければ資金が回らず、いよいよ潰れるという日の前夜、家内は**「お父さんはよく頑張ったわね」**と、うろたえもせず私に言いました。全て失うかもしれないというのに…。女性の心の強さには敵わないなと思いました。

## バランス経営と強固な会社づくり そして未来へ・・・



**100年会の発足**  
40年目を迎え「100年続く夢のある会社」になることを目指し、**幹部の育成と補強**を行い未来を考える100年会を発足。

**健康経営の実行**  
経営理念のひとつである「社員の幸福」。これまでも行ってきた利益分配に加え、**働きやすい環境の整備**を実行。

**自社開発製品にも注力**  
2018年、永橋優純先生を設計開発部顧問に迎え、社会に役に立つ製品の自社開発に注力。**農業や林業など高知県でさかんな産業から選んだテーマ**で、地域への貢献を目指して研究を進めている。

**創業時の目標、設計から完成品までの総合加工企業へ**  
2011年、**設計開発部を設立**。2013年には**第3工場が完成し、塗装と組立まで行う体制**に。創業時に掲げた、一貫生産を行う金属総合加工企業への夢を実現。

2019 ← 30周年 2010

### 歴史のキーパーソン

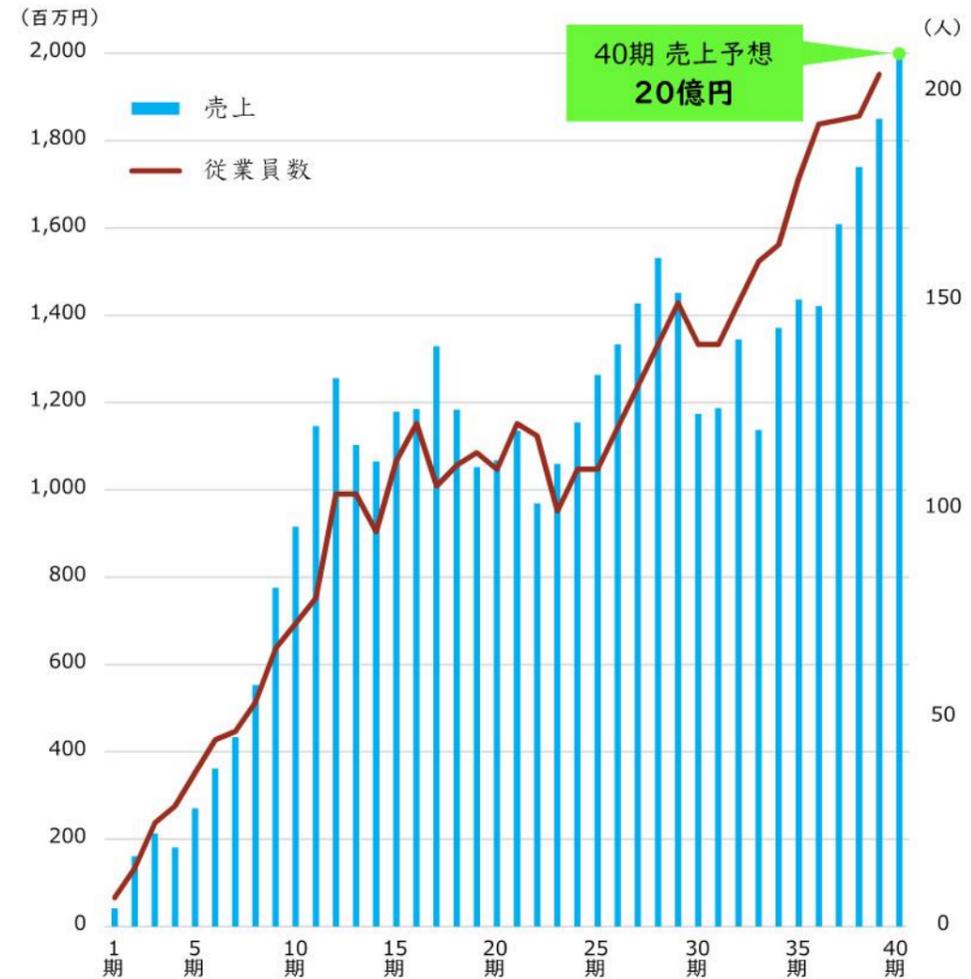


田村 圭/1998年入社 組立事業部  
山本さん (P.5)、山中さん (P.16) たちと同期の20年プレイヤー。  
テクノ工場の立て直しでは10キロ痩せるほどの奮闘も。

### 品質に対する高い意識

「1個の不良が会社を潰す」という標語が工場内に掲げられているように、品質に対しては本当に厳しく育てられました。社長は阪神タイガースファンで、社長室には虎グッズがたくさん飾ってあります。従業員の間では「タイガースに行ってくる…」というのが社長からの呼び出しの意味でした(笑) かつては、不良品を出してしまうと社長室で灰皿が飛んでくるような時代でいつも緊張感がありましたよ。でも社長は、厳しく叱るけれど長く引っ張らず、最後はフォローしてくれるので、20年も続けてこられましたね。

## 夢のあるおもしろい会社をめざし 高知から海外へ目を向ける



**海外視察と中国人実習生受入れ**  
2004年の上海国際工業展覧会を皮切りに、アジア各国への視察を複数回実施。また、2007年より3年間で5名の中国人実習生を受入れ。高知から海外へ視野を広げる。

**教育機会の拡充**  
一人一資格以上を合言葉に従業員の資格取得をサポートし、製造技術を向上させている。また2004年より**経営コンサルタン**トを導入し、試算表分析や原価管理など、経営を学ぶ勉強会を継続実施。

← 20周年 2000

### 歴史のキーパーソン



五十嵐 辰生/2002年入社後、一度転職し接客業に就く。その後再び当社へ。他業種を経験したからこそわかる、ものづくりならではの日々腕が磨かれていくおもしろさと仲間の結束力の強さが仕事の原動力。

### 仲間に助けられた経験を大事に

インドネシア、ベトナム、タイ、マレーシアへの視察に私も行きました。各国の成長の勢いに驚きました。中国人実習生の一人が私のチームでしたが、能動的で気合いの入った働きぶりをよく覚えています。とてつもなく忙しい時期について私が体調を崩したことがあったのですが、その時彼はお茶を持ってきてくれました。中国ではお茶は薬だからと。本当に大変な時期でしたが、仲間に助けられました。今は多くの部下を率いる立場になりましたが、**チームワークを大切に**考えています。



さて、目の前の不安は色々ですが、少し先…たとえば3年後に目を向けて  
どうなったら幸せに働き続けられているか、想像してみてください。

> 会社の利益を上げ続けていきたい！

そして、給料が上がり、同時に休みが多くとれるようになりたい！

> コミュニケーションをもっと円滑にしていきたい！

工場や事業部を超えた協力体制を強くしていきたい！

こんどは同じ意見が多く出てきましたね。  
では、そのために、課題に感じていることは何ですか？

> 向いている方向は同じか？

> 会社全体でひとつというチームワークは？

> 協力しあう姿勢は？

> 1人ひとりの参画の意識の強さは？

> 「もっと」という意欲の高さは？

だんだんと解決のヒントがあがってきました。



弘田 雅士 / 組立事業部課長  
1995年入社 小学生2人のお父さん。部活でやっていたハンドボールを子供とするのが楽しみ。



岩崎 太輔 / 本社工場長  
2008年入社 最近始めたゴルフ。100切りを目指してひそかに練習を重ねている。



首藤 毅 / 取締役テクノ工場長  
1989年入社 小学生から野球一筋。入社後すぐ野球部に。監督兼プレイヤーの二刀流。



## 幹部×若手 未来座談会

40年目を迎え、3工場、200名体制となりました。さらに成長を目指す未来。

その中でどうなっていたら幸せに働いていけるのだろうか？  
少し目線を遠くへ向けて、幹部と若手がともに  
意見を重ねた座談会の行方は？

1、座談会の開始直前、  
どう思っていますか？

> 未来のことって、  
何を話したらいいんだろう？

> 幹部/若手とは直接話す機会って  
あんまり無いんだよね…。

> なんか、不安。

そうですね…初めての企画に招集され  
皆さん、少し不安そうに着席します。

3、次に、最近不安なことと、それ  
に関する心の叫びを教えてください。

> 納期が間に合うか…手伝って！

> 一気に仕事が振られる…こまめに  
相談してほしい！

> 野球部員が早く増えてほしい！

> 問題は色々…穏便に解決できないものか

やはり仕事に関する悩みが多くなりますね…

2、最近うれしかった  
ことを教えてください。

> 子どもから手紙をもらったこと

> 改善提案で表彰されたこと

> 彼氏から花束をもらったこと

> 家族が健康でいること

自己紹介を兼ねて、幸せに働いていける原動力として  
社内のことでも、それ以外のことでも、皆さんの  
日常を教えてくださいました。

楽しい座談会でした。  
改善のための企画、  
実現させていきたいです。  
がんばりましょう！

大崎

様々なメンバーから本音で  
願望を聞ける機会と  
なりました。  
向かうべき方向を  
再確認できたと思います。

首藤

あっという間に  
時間が過ぎました。  
では締めくくりに  
感想と今後の意気込みを  
どうぞ！



自分の発言に責任をもって  
いきたいです。3工場間の  
つながりを大切に、  
意見を拾える場を  
つくってきたいです。

弘田

これを機に、このメンバー  
から始めていきたいです。  
仕事をカバーしあえる  
人材を増やして、協力  
しあってきたいです。

森尾

和気あいあいとした  
雰囲気意見が言いやすかつ  
たです。同じ方向を  
向いているとわかりました。  
ここからスタート  
させたいです。

窪田

座談会終了後、部署に戻って  
まずはこのメッセージを  
メンバーに共有しました。  
ここからスタートです！  
幸せを勝ち取る企業へ！！

この座談会のような  
工場や部署、役職をこえた  
コミュニケーションの場を  
広げていきたいです。

岩原

改めて、良いメンバーが  
栄光にはいるんだと  
実感しました。前向きな  
アイデアが聞けて  
嬉しく思いました。

岩崎

解決のアイデアはありますか？

> 日々の業務内で、広い視野を持つ仕掛けをしたい！

他部署や3つの工場を巻き込んでの改善活動で自ずと多くの人との会話を。  
ローテーション研修の強化で、様々な部署に頼り頼られる関係を。

> 業務を離れて、人をもっと知る仕掛けをしたい！

会社規模拡大によって少なくなってきた様々な行事の復活。

では、アイデアの実行における課題は何ですか？

> 迫りくる納期と戦いながら、新しいことに取り組む時間の捻出。

> 多くの仲間の賛同と協力を得ながら進めていく力。

たしかに、様々な課題が上がってきますが  
座談会に参加したメンバーが先陣を切って  
幸せに働き続けられる会社をつくってきたいですね。



窪田 真実 / 生産管理部  
2012年入社 1ターンで高知へ。金融業界から転身。子育ても全力投球！



大崎 史靖 / 設計開発部  
2017年入社 ホテル業界より転身。兄 丈士さん (P.15) も同部署に。



岩原 早甫 / 塗装事業部  
2017年入社 母校にて理科生物の時間講師として教壇に立っていたことも。



森尾 真優 / ARM事業部  
2014年入社 食品や土木などの業界を経て製造業へ挑戦。

第3(まほろば)工場



本社工場



第2(テクノ)工場



## ここは任せろ！名コンビ #02 設計開発

大崎 それでも毎年新卒生を入れて、仕事が増えた時のために勉強はさせていきよったね。

戸梶 僕が8か月、取引先に駐在して学ばせてもらって、やっと仕事を取ってこれたけど、その後も十分な仕事量ではなかったね。

大崎 部ができた頃は、ほんまに仕事が無くてつらかった。現場は忙しいのに自分らはやる事が無くて。給料泥棒って言われながら。会社におりづらくて、昼飯を倉庫で隠れて食べたこともあった。

戸梶 高校の同級生で寮生活でも一緒やった。僕ら30歳超えたけど人生の半分こいつと一緒や。

大崎 いつもコンビにされるの嫌ながやけど(笑)

**仕事があるという  
幸せを実感**



毎年、新卒生から配属希望のある設計開発部。平均年齢が若く伸び盛りのメンバーを率いる。

戸梶 修寛／2009年入社 関東でカーナビ会社に入社したが、やっぱり高知が好きでUターン。仕事ではまず自分でやってみるという実践を大切にしている。

戸梶 稼いで会社に貢献できるようになったとき、前より腰を据えて開発に取り組める良いペースができてきたと思う。

大崎 最近では設計から製造まで行う完成品の「稼ぐ仕事」と、先への「投資」になる自社製品開発の両輪が回るようになってきた。

### 自社製品開発へ

戸梶 今の子らは仕事がありすぎて大変やろうけど忙しいのは幸せなことやと思う。

大崎 丈士／2008年入社 サウナが大好きで入り方に細かいこだわりがある。サウナはもはや競技！仕事も遊びも多くの師匠を持つことを大切にしている。

## ここは任せろ！名コンビ #01 営業

陸の孤島の地理的ハンデを跳ねのけて野村当社のお客様はすべて県外企業。四国だけでなく、関西・中国地方に多いです。陸の孤島高知からでは輸送に費用も時間もかかります。それでも当社に依頼をしてもらえるのは、設計開発から完成品まで一貫生産ができる企業が全国的にもごくわずかだからです。真下 ここ数年で引き合いをいただくことがぐっと多くなりました。それまでは今よりずっと苦しい営業でした。他社でもできることから、単純に価格競争になってしまおう。一貫生産体制を築けたことと、様々な工程で難易度の高い加工ができる技術が備わったことで、うちだからこそできる仕事が増えていきます。

お客様の反応で、うちが強い会社になってきたんだと実感しますよ。

### もう一組の名コンビ

真下 営業部は4名なんですけど、山崎清一郎長の関西弁と岡村智世さんの土佐弁の掛け合いは漫才みたいで名コンビですよ。

野村 各地を走り回っていて会社じゃないことが多いので、漫才が聞けるのはレアなんですけどね(笑)



山崎部長と岡村さん。真剣な議論(と漫才?)を展開中。

野村 太郎／2017年入社 マンション広告制作に従事した後、Uターンし製造業へと転身。現場や設計を学んだ後、かねてより希望していた営業部へ。

真下 将人／2004年入社 27歳でUターン。SAT事業部の起ち上げ、新設備導入で眠れない日々を過ごしたことも。現場経験を活かし35歳から営業部へ。



## ここは任せろ！名コンビ #04 品質保証

中岡 社内内の全工程だけじゃなく、外注先の皆さんも含めてのこと。僕をはじめたくさんの人が「富岡次長マジック」にかかって、改善が進んでくるんですよ。マジック！

富岡 不良品が出たら、その部門の責任じゃなくて、すべて品証の責任だと思っています。それくらいどの工程もしっかり巻き込んで改善していかないと。

中岡 各工程内で未然にミスを防ぐ体制を整えていくことが一番注力したいことです。

富岡 品質保証部は納品前の最終チェックと手直しをしてるんですが、本当はこの部が無くても完璧な製品が出せる状態になっているのが理想なんですよ。

### やる気のマジック

### 改革の先陣をきる



二人とも趣味は釣り、音楽はヘビーメタル、パンクロックが大好き。

富岡 探求心のあるメンバーがいると、僕の方もやる気が湧いてくる。品質保証部全員で先陣きって改革していきたいですね。

中岡 僕はマジックにかかってからやる気が止まりませんよ！

富岡 マジックというかね：落ち度ばかり指摘するんじゃなくて、良いところを探してたくさん褒めることを信条にしてるんですよ。褒められたらもっと改善しようと思えるでしょ。

中岡 新二／2018年入社 前職はケーキ職人。持ち前の勉強熱心さで、製造業での新しい挑戦に燃える。

富岡 朗人／2000年入社 20年近い社歴の中で、新部署の起ち上げや部門長を経て、品質保証部を攻めの姿勢で率いる。



## ここは任せろ！名コンビ #03 技術

### 猛烈に働く世代に育てられて

下司 ステンレスを始めるき部を起ち上げてくれた社長に言われて、講習を受けに行ったりしてね。最初は仕事もないし、全部手探りよね。この子はずっと一緒にやってきて一番信頼しちゅう。

山中 部の設立から3年くらいで僕が入って。部と言っても2、3名やったとき、前工程から全部自分でやる。毎日やったことないことばかりで。

下司 昔、不良品が出た時に、この子は徹夜して翌朝までに直し切ったことがあってね。意思が強いし探求心もあるし、この子はやるなと思ったことがあるで。

山中 そんなこともあったっけ（笑）僕より2周上りのこの世代が猛烈に働くからね。厳しいし怖い。でも今では皆、丸くなりすぎや。

### こんどは、若手を、部署を育てる番

下司 年よ。下に任せられる者がでてきたら気持ちも楽になるし、そりゃ丸くなるわね。山中君の下も育ててきたね。和を考えて部署を作ってきてくれたとき、良いチームになってきた。

山中 もっと技術もつけないかんし、製品から作業工程を考えて採算が合うように数字を出していくことにも強くなっていきたいかん。まだまだ。

下司 最近、良い子が入ってきてゆうき、これから楽しみよ。伸びると思うで。



若手の成長が目覚ましい！技術習得はもちろん、改善提案にも積極的に挑戦中。

山中 宏太／1998年入社 ステンレス事業部一筋。下司さんとは栄光工業史に残る最長コンビ。現在は部門長として後進の育成にも力を入れる。

下司 和裕／1991年入社 ステンレス事業部のレジェンド。北村哲也さん（P.20）に育てられた猛烈に働く世代。スノーピーが好き。

# わたしの相棒

長年つき合ってきた設備は  
技術者にとって相棒のような存在。  
相棒との日々を振り返ります。

## 松尾 昭仁

板金事業部

### ベンディングロール



#### 繊細な手の感覚を磨く

筒の間に鉄板を通し、圧をかけながら引っ張ることでカーブさせていく設備です。両端のカーブの具合が同じ作業なら簡単です。でも、円錐台のように両端の曲げる度合いが違うものはすごく難しい。以前は外注していたけれど、修行して今では自分でできるようになりました。いまだに手ごわいですけどね。

2002年入社 息子が春から大学生です。「大胆かつ慎重に」をモットーにさらに頑張っていきます！

## 岩下 誠

溶接事業部

### テーブルスポット溶接機



#### 綺麗な仕上げがポイント

テーブルの上にパーツを置いて溶接します。焼けや歪みがなく綺麗に溶接できるのが特徴です。パーツの厚さや材質によってセッティングが違うので、新しい製品に取り組むたびデータが積み上がり、段取りがどんどんスムーズに。元美容師なんですけど、綺麗に仕上がったものを見ると楽しいのはその頃から一緒ですね。

2013年入社 美容師から転身。昔から、パソコンに向き合うより、手を動かす仕事の方が好きですね。

## 小松 樹史

ロボット溶接事業部

### ロボット溶接



#### 治具でロボットが本領発揮

同じ作業が多数繰り返される際に便利なロボット溶接。オペレーターはプログラムを書いたり、ロボットがスムーズに動くように治具を考案したりします。新しい図面と向き合い、プログラムを考えると心が燃えますね。学校でも溶接をしていたので、それを土台にスキルアップ挑戦中です。

2014年入社 ロボット溶接だけでなく手溶接もしています。入社時に希望した溶接に入り6年目です。

## 高橋 さち

板金事業部

### プレスブレーキ



#### 度胸と気合いの一発勝負

鉄板を金型の中に差し込んで圧力をかけて曲げる設備。一度差し込んだら後戻りも修正もできません。1つのパーツで多いものでは15回以上曲げることも。適切な順番を考えないと途中で行き詰まってしまう。いざ作業を始めたなら、度胸と気合いでこの一発勝負を乗り切っていきます。

2012年入社 「考えるより感じる」がコツだと言えるようになるくらい場数を踏むのが大切。何よりもまず実践ですね。

## 岡田 浩

SAT事業部

### 2Dレーザー切断機



#### そびえたつ働き者

テクノ工場でひと際目を引く大きな設備。材料の鉄板を入れておく棚は天井まで届きそうな高さ。夜間も自動で動く、そびえたつ働き者です。導入時は膨大な操作番号に手こずりました。使い込んで約10年。相棒がご機嫌を損ねないように、こまめにメンテナンスしながらつき合っています。

2002年入社 前職は建築関係で図面は慣れていたけれど、タイプの違う製造業の図面に当初苦戦したのも良い思い出。

## 岡村 匡朗

ARM事業部

### タレットパンチプレス



#### スピード命の一番手

材料の鉄板に金型を押し当てて打ち抜き、穴をあける設備。略してタレパンと呼ばれます。設計図が出来上がったらずっと最初に登場する作業なので、後工程が遅れないようスピードが求められます。多種多様な金型とその配置パターンを覚えて駆使し、スピーディーにバトンを渡しています。

2001年入社 緻密な作業が好きで、やりはじめると熱中するタイプ。タレパンは合っているかもしれないですね。

## 宮田先生と振り返る事業の変化と、今後の目標

2004年よりご指導いただいている中小企業診断士 宮田稔先生よりメッセージ



### 部品加工から完成品へ

30周年を契機に第二創業期に入り9年経過しました。その間、栄光工業は部品加工専業から高い付加価値が見込まれるOEM、ODM生産の完成品を手掛けるようになり、年々完成品の売上が増加傾向にあります。そして直近の平成30年度（第39期）には総売上高の35%に達しました。

### ハード×ソフトの相乗効果

栄光工業の完成品分野進出の好調な要因は、新分野進出にあたって、不安よりも成功させるという強い意志のもと、組立事業部と塗装事業部から成る第3工場の建設や、機械加工事業部への積極的な投資によるハード面の拡充が挙げられます。また、従業員の皆さんが培ってきた「多品種」「小ロット」「短納期」の強みと、第二創業のスタートに誕生した設計開発部門のソフト面との相乗効果の成果と考えております。

### 新時代の目標

令和の時代に入り「新たな働き方改革」が求められています。栄光工業にあっては高付加価値の完成品分野の比率を更に高め、豊かで働き甲斐のある企業を創ることが第二創業にふさわしい目標と思っています。



北村 哲也 / ARM 事業部  
1980年入社

昔は目つきが鋭くて、工場を歩いたらピリッと張り詰めた空気が流れよった。でも情がある人やきついでこれたわね。もう40年近く働いてるとね、愛着がものすごいあるでしょ。しんどかった分、愛着が大きい。やき、今後も潰れんていてほしい、伸びていってほしいという思いがあるねえ。若いもんが成長してきて嬉しい。またあと10年でもっと変わっていきけるやろう。

しんどかったことがほとんどやけど... 創業1か月で入社したときね、もう色々ありすぎて何から話したらいいか。10名位で天井が低くて暗くて暑い借工場だね、そんな時代よ。まさか40年で200名以上になるとは思ってた。もう潰れるかというくらい苦しい時期があったけど、社長が将来へ投資してきたことが的を射て膨らんだ成長してこれた。



慰安旅行

### 会社への愛着

社長は実行力があって、高知にはいないタイプの人やと思うね。もうこれくらいで良いと思ってチャレンジをやめるようなことを絶対せん人や。昔は目つきが鋭くて、工場を歩いたらピリッと張り詰めた空気が流れよった。でも情がある人やきついでこれたわね。もう40年近く働いてるとね、愛着がものすごいあるでしょ。しんどかった分、愛着が大きい。やき、今後も潰れんていてほしい、伸びていってほしいという思いがあるねえ。若いもんが成長してきて嬉しい。またあと10年でもっと変わっていきけるやろう。



忘年会  
“さあやるぞ”年に一度の憂さ晴らし

## 栄光今昔物語

## 編集後記にかえて...

栄光工業の40年の歴史とこれからを記す本誌の制作に、入社1年目の私が携わる事となりました。右も左もわからないままスタートし、ここまでの1冊となり得たのは、ひとえに編集やデザインをすべて受け持っていた中城さんと、取材に協力していただいた先輩社員の皆さんのおかげだと感謝しています。

50年、そして100年の記念冊子も、栄光工業の発展とともに、この本のように心に残る1冊となることを期待しています。

昨年の「踊るものづくり」ムービーのプロデュースをきっかけに、様々な広報の仕事をご一緒させていただきました。その都度、多くの従業員の皆様に取材する機会をいただきました。お話しくださったことは、皆様にとっては日常で、日々の挑戦のひとつだったかもしれませんが、その積み重ねで40年目があるのですから、その日常こそ、皆様がつくられた功績なのだと思います。本誌の言葉は単なる思い出話ではなく、皆様がかけてきた時間と思いの結晶として大切に綴ってまいりました。

私は1990年生まれですので、生まれた時には、祖父は社長歴11年目だったわけです。子供時代は祖父母と一緒に暮らしており、夕食の席では祖父の経営談義をよく聞いていました。その経営スピリッツが体現された栄光工業を、二十数年の時を経て、本誌のような形で表現することに携われたこと、心から嬉しく、感謝しています。

中城ちひろ / 編集・デザイン



小原千恵子 / 管理部  
1991年入社  
アルバムが事務所にたくさんありますよ。見に来てくださいね。

楽しいこともいっぱい  
まだ会社も小さかったしね。慰安旅行、ボウリング大会、バレーボール大会、日吉神社でのよさこいとかね。社長の自宅で他の会社の人も呼んで宴会をしたりねえ。社長の奥さんは準備が大変やったと思うけど。とにかくいろんな楽しい企画をしようたね。そんなことばかり思い出す。

### 若い世代にも

会社が大きくなったけど、今の若い子も集まって楽しいことをいっぱいやっていってほしいね。仕事やきしんどいことが多いけど、楽しいこともいっぱいしたいねえ。

何かもアナログな時代  
昔は注文書も全部手書きでやりよった。あの膨大な量をどうやってやりよったか今では信じられんけどね。パソコンが出だした頃、会社が教室へ通わせてくれて勉強しよった。でも会社にはパソコンが無いすぐ忘れてねえ(笑)アナログな時代よ。

# 創業社長が語る、栄光工業が誕生するまで

## 月給は1万1千円

私が当社を創業したのは39歳の時。それまではサラリーマンでした。野球に没頭した大学時代を経て、昭和38年、大阪の淀川製鋼に就職。ホーロー工場で風呂をつくるのが最初の仕事で、月給は1万1千円でした。その頃の流行歌のタイトルは「1万3800円」。なぜ俺の給与の方が低いんだ？と思った記憶があります。当時の国策であった持ち家政策の波に乗り、熱源付きユニットバスの開発に携わり、生産拡大のための大工場建設プロジェクトにも参画できたことで、様々な知識が得られました。この経験が独立に役立ち、**知ることの大切さ**を感じました。

## 俺の人生に船はない

仕事の面白さがわかってきた頃でしたが、一人息子ゆえ、地元高知へ帰ってほしいと母から言われ、退職を申し出ました。しかし、すぐには辞められず、家内だけ先に高知へ帰り、私は大阪に残って別居となりました。1年後、再度社長に退職を願うと、高知県造船へ出向として勤めるよう命じられました。



社長 大学時代



社長 淀川製鋼時代



妻 中山和子



父・初代会長 中山 義道



母 中山 栄

しかし、私は高知県造船が一望できる山に登って半日考え、最終的に「俺の人生に船はない」と結論を出し、出向命令を断ったのです。両親は「**自分に合わない道なら進むべきでない**」と、この決断の背中を押してくれましたが、急に夫が無職になったわけですから、家内は大変なことになったと思っていました。高知県造船は後に、県へ譲渡されたため、もし船の道に進んでいたら、結局、出向解除により淀川製鋼に戻るようになっていました。つまり、この決断がなければ栄光工業は誕生しなかったわけです。**決断によって人生が大きく動く**ということを学びました。

## 家内は働きに、自分はハローワークへ

さて、忘れられない失業時代です。家内は毎朝仕事へ出かけ、私は失業保険と就職の面接案内をもらうため、現在というハローワークに通う日々が5か月続きました。働いていないと1日がものすごく長く感じます。「なんて俺はこんなところにいるのだろう」と惨めさが募りました。**働くことがいかに大切か**を実感しました。

## 勤めた会社の成長と衰退

その後、人材募集中の新会社の情報ももらい、面接に行きました。まだ土地の埋め立て工事の最中で、工場も完成していない会社でした。「給与は多く払えないが、一緒にやらないか」と言われ、給与額も知らずに就職を決めました。ここで、土地の造成、工場建設、人材採用、機械設置とあらゆることに携わり、12年間で係長、課長、次長、部長、統括部長、工場長、取締役工場長と階段を上りました。しかし時代は変化し、会社は成長期を過ぎ、衰退期に入りました。

## 39歳での起業

その会社を助けるために私が独立、栄光工業を創業したのです。**社名は母の名前(栄(さかえ))**からとりました。父は軍人で、私は満州で育っています。敗戦により父がソ連に抑留され、母が大変な苦勞をして満州から姉と私を守って引き揚げてきた歴史があるからです。創業後については本冊子47ページに譲るとして、次に、私の経営に対する考え方をお話しします。

# 創業社長の「頑張る心」

社長がもうできないと言え、会社は終わりです。

「粘り強く、諦めず、辛抱強く」を経営の原点として、社長をつとめ、40年目となりました。ここに、私の経営に対する考え方を記します。

## 自立と自己責任・スピードと継続

「**幸せは自分で勝ち取るもの**」という意識付けによって自立を促しています。自己責任とは「**言いたいことは言う、そして責任は自分で持つ**」ということ。言いつばなしでは批判にすぎないからです。それから、**思いついたらすぐ実行するスピードと、走りながら修正し、止まらず継続**すること。これを社長方針として徹底しています。

## 成果への挑戦

夢というものは、半分しか実行できないもの。死ぬ時には「もっとやりたかった、半分しかできなかった」と言っているでしょう。夢の小さい人は小さいことしかできません。**夢は大きく持つ**てそれに向かって走ってもらいたいというのが、**ともに働く人への願い**です。

そして夢を持ったなら、「**思考は、深く深く深く。気づきは、広く広く広く。信念は、強く強く強く。**」を心に成果へと挑戦していくのです。

## 永続発展のために

「**才覚**」時代の先の先を読み、時代の変化に対応する力、「**度胸**」従業員のために命が売れる心、「**勇気**」すべてやり切る魂、「**思いやり**」優しさとの条件と実行力。この4つが**社長をつとめる者の条件**と考えています。

そして、勝ち残り永続発展していくためには、**足元を固めて、攻めて、攻め抜く**ことが必要です。守りに入ると先の先は読めません。攻めているうちに、先の先が読めるのです。

また、**良き人脈を作り上げる**ことも大切です。この時、お付き合いする相手は自分と同じレベルではいけません。自分も、相手も、なら、掛け算しても1のままです。相手が5なら自分も5に、10なら10に**伸びていける将来性**があるからです。

「**私がやらねば誰がやる、私が必ずやり切ります**」の精神で、**100年続く夢のある企業**へと挑戦しています。

## 2025年までの7年間「戦場の栄光工業」「やり切る」を胸に

昭和・平成・令和と3時代を生き抜き、「先の先」を読み解いて、「強い会社」を目指してきました。3人で創業して、現在は230人、7年後には270人へと仲間を増やし、未来へ挑戦を続けてまいります。

従業員の皆さんには「時間は返せない」ので、皆さんに1日1日、栄光工業に勤めて良かったと思ってもらえる経営を続けていかななくてはなりません。

40年社長として生きた証を、さらに次の時代へと繋いでゆくため、従業員の心のわかる、従業員のために命を懸けることのできる「**実行力**」と「**思いやり**」のある後継者へと引き継いでいく覚悟です。今後とも栄光工業をよろしくお願い致します。

代表取締役社長 中山博之



